

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスぐりっと南城		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 20日		～ 令和8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 20日		～ 令和8年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間が清潔で、心地よく過ごせる環境になっており、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	空気清浄機を常時作動し、清潔な環境作りを徹底して行っている。また、随時ヒヤリハットについて職員間で話し合い、危険な物の排除など安全に過ごせる環境を心がけている。	継続的に清潔で安全な環境作りを作っていくとともに、更に子どもが活動しやすい空間を作っていくように職員間で都度話し合う機会を設けていく。
2	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができている。	保護者に今日の児童の様子を共有するように声掛けている。また、保護者から相談などがあつた時は、職員間で共有して職員間でも共通理解出来る様な状況を作っている。	こどもの健康や発達の状況についての理解を深めることができるように、研修等で職員の知識の向上を図っていく。
3	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われている。	定期的に行うモニタリング等の他にも、保護者から面談の希望があつた時は、迅速に対応するように心がけている。	職員の知識の向上を目指し、研修などの機会を増やしている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修や情報提供の機会等	保護者会を開催することができていない。 家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)に対する職員の知識が足りない。	保護者会の実施。 家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)に対する研修を取り入れる。
2	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援	保護者会を開催することができていない。 保護者会と同時進行で、児童やきょうだいへの見守りが難しい。	系列店舗の職員など、周りの協力を得て児童やきょうだいを見守りつつ、保護者会を開催することが出来る様な状況を作っていく。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	放課後児童クラブや児童館との交流がないため、地域の他のこどもと活動する機会がない。	図書館や公民館など商業施設を利用することが多いので、地域住民との関わりを増やして行き、活動として交流する機会を作っていく。